

平成25年度地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通ネットワーク計画に基づく事業)

協議会名: 清須市地域公共交通会議
 評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・施設名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通ネットワーク計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】 A: 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された B: 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった C: 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった	【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】 A: 事業が計画に位置づけられた目標を達成した B: 事業が計画に位置づけられた目標を達成できていない点があった C: 事業が計画に位置づけられた目標を達成できなかった	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通ネットワーク計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
つばめ自動車株式会社	オレンジルート 1～5便及び6便 春日支所～清洲駅～枇杷島駅～西枇杷島庁舎 【車両減価償却費等国庫補助金交付対象】	市内公共交通ネットワークの連携強化を図るため、ルート・ダイヤ改正を実施する旨を記載。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 目標利用者数: 9,190人(1便当たり4人) 実績利用者数: 9,471人(1便当たり4.4人) 目標達成率: 103.1%	次年度も目標を達成するため、OD調査やアンケート調査による利用者ニーズの把握や、利用促進策等を継続的に実施し、さらなる利用者数の増加を図っていく。
つばめ自動車株式会社	グリーンルート 1～8便及び9～10便 豊公橋北～枇杷島駅～須ヶ口駅～清洲総合福祉センター 【車両減価償却費等国庫補助金交付対象】	市内公共交通ネットワークの連携強化を図るため、ルート・ダイヤ改正を実施する旨を記載。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 目標利用者数: 15,320人(1便当たり4人) 実績利用者数: 16,475人(1便当たり4.5人) 目標達成率: 107.5%	次年度も目標を達成するため、OD調査やアンケート調査による利用者ニーズの把握や、利用促進策等を継続的に実施し、さらなる利用者数の増加を図っていく。
つばめ自動車株式会社	サクラルート 1～8便及び9～10便 西枇杷島庁舎～枇杷島駅～春日公民館 【車両減価償却費等国庫補助金交付対象】	市内公共交通ネットワークの連携強化を図るため、ルート・ダイヤ改正を実施する旨を記載。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B 事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった。 目標利用者数: 15,320人(1便当たり4人) 実績利用者数: 13,571人(1便当たり3.7人) 目標達成率: 88.6% 【理由】 平成24年7月に開館した図書館へのメインアクセスルートと位置付けたが、バスに乗り降りする図書館利用者が想定より少なかったため。	図書館バス停付近掲示板によるPR活動、図書館利用者へのチラシ配布等により、利用促進を図り、利用者数の増加を図っていく。

※評価にあたっては、「事業評価を通じた地域公共交通確保維持改善事業の効果的実施にむけて(ガイダンス)」(平成25年11月)を参照し、実施。